






落合二中 家庭学習の手引き 1年

教科	家庭学習はこのように取り組もう!	試験前はこのように取り組もう!
国語 	<ul style="list-style-type: none"> 漢字のテキストや、国語ワークに少しずつ取り組みましょう。試験前にあわてないように、少しずつ進めておくのがポイントです。特に漢字は繰り返し練習しましょう。 <p>【ICTの活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学びポケットのドリルパークの漢字ドリルを繰り返し練習しましょう。ベーシックドリルやパワーアップドリルも時々取り組んでみましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業で取り組んだことを、ノートや教科書を見たり書き写したりしながら、繰り返し復習しましょう。「繰り返す」ことが最重要ポイントです。 漢字を繰り返し練習しましょう。完全に覚えて書けるまで練習するのがポイントです。 ワークの問題に取り組みましょう。1回だけではなく、3回は練習しましょう。
社会 	<ul style="list-style-type: none"> 授業があったその日に、プリントやノートをしっかり見返しましょう。単に語句を覚えるだけではなく、「なぜ」「どうして」といったつながりを考えることが大切です。また、ワークやドリルパークなどを活用して繰り返し問題に取り組みながら学習内容を定着させましょう。 地理はグラフや表、地図などの資料を正確に読み取れるかどうか大きなポイントになります。授業で扱った資料は必ずその日のうちに振り返り、要点を改めて考える習慣をつけてください。 歴史は「なぜ」「どうして」その出来事が起こったのかを理解することが大切です。用語を覚えるだけではなく、授業内容を整理しながら、「なぜ」「どうして」という視点をもって復習に臨むようにしてください。 <p>【ICTの活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業の復習として、ドリルパークを活用しましょう。一問一答形式の問題は用語の確認に最適ですが、その際には、単に用語を覚えるのではなく、必ずその意味まで理解するように心がけましょう。 NHK for schoolにある地理や歴史の解説動画なども、授業内容の確認や補助として活用してみてください。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークやドリルパークなどを活用し、繰り返し問題に取り組ましましょう。 ワークは自分で必ず丸付けと間違い直しをていねいに行い、どこを間違えたのか、なぜ間違えたのかを明らかにすることが大切です。特に、漢字の間違いには気を付けましょう。 プリントやノートの赤字、線を引いたところなど、授業中で扱った大切なポイントは、自分で意味や関係性を説明できるレベルまで確認しておきましょう。 社会は暗記さえすれば良い教科ではありません。日ごろから勉強を習慣化して、力を付けていかなければならないことを忘れないでください。
数学 	<ul style="list-style-type: none"> 授業で習ったその日のうちに、教科書の例題やワークの問題を自力で解き、解き方を完全にマスターしましょう。 丸付けとやり直しはていねいに行い、正しい途中式や考え方もすべて書きましょう。分からない箇所はそのままにせず、数日後にまた間違えた問題を自力で解き直しましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書に出てくる重要な新しい用語を確認し、その意味もしっかり理解してください。 教科書やワークの例題を全て解いて、ワーク、ドリルパーク、e-ライブラリなどで類似問題を解いてください。特に、間違えた類似問題は繰り返し解きましょう。



理科 	<ul style="list-style-type: none"> 文章題のような応用問題は、まずは、じっくりと悩んで粘り強く考える時間をとりましょう。例題で使った解き方や考え方をうまく使えないかいろいろと試行してみましょう。徐々に思考力が高まっていきます。 <p>【ICTの活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ドリルパーク（ベーシックドリル・パワーアップドリル）を自分の学力に応じて解いてみましょう。分からないときは、画面右上にある「考え方を確認」で、ステップに分けた解説を見てください。また、「理解を深める」で類題も解くことができます。 復習するときに、授業で習ったポイントを、e-ライブラリの解説教材の「ポイント」と合わせて確認して、確認問題を解くと大変有効的です。また、「プリント教材」で全国の高校入試の問題を解くことができます。習った範囲で解ける問題があるか調べて、どんどん挑戦してみましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> 1度間違えた問題を2度間違えてしまったらわかるまで解きましょう。 テストは時間が決められています。問題をたくさん解いて、正確さとスピードの両方を身に付けていきましょう。
音楽 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書とプリントを見て、その日の授業を思い出し、復習をしましょう。授業内容の理解がより深まります。暗記するだけではなく、なぜそうなるのかを常に意識し、解決しようと心掛けて進めていきましょう。 授業中に気になったことはすぐに自分で調べましょう。理科で疑問に思うことは大切なことです。小さな「なぜ？」を大きく広げて、科学への興味関心を高めましょう。課題やワークなどを積極的に取り組むことも忘れずに。 <p>【ICTの活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> 空き時間でドリルパークなどを上手に活用して苦手な所を何度もくり返し解き、どんどん苦手を減らしていきましょう。 NHK for school や YouTube などには面白いだけでなく、分かりやすく学びながら見ることができる動画がたくさんあります！積極的に見ておきましょう。 <p>特に授業の復習に関係する動画を中心に見てみましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 小テストや自主学習（ワーク）を、繰り返し学習することが大切です。一度解いた際に間違えてしまった問題にチェックをつけ、試験直前に再度確認すると良いでしょう。 教科書の太字や、プリントの内容や、自分で書いたことをしっかり理解しましょう。教科書だけで分かりにくい所は、理科資料や動画などを見て様々な方向からみていきましょう。 理科の実験はとても大事です。実験でどんなことを行ったのか、結果がどうだったのか、そこから何が分かったのかを復習しましょう。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> 毎日取り組むような課題は特にありませんが、その日の学習内容の振り返りや、学習プリントの間違い直し、定期考査前の復習などを行いましょう。課題を出す時もあります。 授業で学習している曲を、可能であれば家庭で歌ってみてください。(できるだけ音源をタブレットで再生できるようにします。) <p>【ICTの活用】</p>	<ul style="list-style-type: none"> 教科書、楽譜、学習プリントなどをよく見直し、授業での学習内容を思い出して、復習しましょう。



	<p>スクイメニューの録画機能を使って自分の歌を撮り、再生、確認すると、技術の向上に役立ち、オススメです。(ただし、容量が大きいので確認後は削除しましょう。)</p>	
<p>美術</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 作品が授業内に終わらない場合は、提出日までに各自で完成させましょう。 1年を通して「美術鑑賞レポート」と「模写」作品を受け付けています。レポートは「鑑賞」の成績に、「模写」作品は「技能」の成績に加点します。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業で試験範囲のポイントを説明します。そこを中心に学習しましょう。勉強した人ほど高得点が取れる、努力重視型の試験です。
<p>体育 (共修)</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 授業の中で、説明があった単語やルールを復習しておきましょう。 体力向上のために、ランニングや体幹トレーニングなど、家庭でも取り組みましょう。 授業で体育のない日にも、適度な筋トレやストレッチを行って、体力や柔軟性を高めていきましょう。 <p>【ICTの活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業時に撮影した動画を家庭で確認し、次の授業時に課題意識をもった状態で参加しましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業中に説明があった内容をよく確認しましょう。 実技については、中学校体育実技を活用しましょう。 保健分野は教科書やワークシートをよく確認しておきましょう。 授業内での安全面や技能面の重要なポイントを振り返っておきましょう。
<p>技術</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 用語の意味を理解し、覚えましょう。 授業中で習った製図法について理解し、描けるようにしましょう。 プリント教科書を1日5分でも良いので目を通しましょう。 理解できていないところはそのまませず、友達に聞かか先生に聞きに来ましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> 定規を使って正確に線をかけるようにしましょう。 授業中にやった製図方法については練習して描けるようになります。 図に大きさを入れるため、寸法の入れ方と寸法補助線、寸法線をマスターしましょう。(2学期以降になります)
<p>家庭</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 道具や材料などの名前を覚えましょう。そして、積極的に家庭の仕事を手伝い、学習を通して分かったこと、できるようになったことを繰り返し実践していきましょう。 特に、長期休業中はできることをいくつか決め、計画的かつ定期的に取り組みましょう。 <p>【ICTの活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業時に調理や被服製作のポイントを写真や動画を参考にして、家庭実践の際に生かしましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> 試験範囲の教科書をしっかり読み直し、大切なところにマーカーを引き、確認しましょう。 プリントを参考にして、繰り返し覚えましょう。 実習技能は、実生活の中で繰り返し取り組むことで技能が定着します。
<p>英語</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 授業での音読練習を思い出し、教科書を自分が読めるようになるまで(3~5回を目安に)音読しましょう。音読で読める・意味が分かる英語を増やすことが、英語力の底上げになります。発音に気を付けながら、大きな声で発話しましょう。 授業で出てきた単語は、語句テスト・定 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の文章を内容が頭に入るまで、音読しましょう。 新出単語や、教科書の新出表現を覚えることで表現の幅が広がります。 エイゴのパートナーの問題を解きましょう。間違えた問題には印をつけ、できる





	<p>期テストに向けてどんどん言える・書けるようになるまで練習しましょう。ノート等で練習し日本語→英語に書けるようにしておきましょう。教科書だけでなくエイゴのパートナーの単語帳も活用してください。</p> <p>【ICTの活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> 1問1答形式なので、単語の復習に活用できます。特に単語が分からなくて文章が読めない、英語が分からないと感じる人は繰り返し活用しておきましょう。 	<p>ようになるまで繰り返すことが大切です。文法内容の定着につながります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 発音の確認やリスニングの練習をした際は、教科書のQRコードをタブレットで読み取り、本文や新出語句の発音を聞いてみましょう。
--	---	---



自分に合った勉強方法を早く見つけて、努力し続けよう!!

落合二中 家庭学習の手引き 2年

教科	家庭学習はこのように取り組もう!	試験前はこのように取り組もう!
国語 	<ul style="list-style-type: none"> 文章の読解については、本文とノートを繰り返し読み、授業を何度も思い出しましょう。 言語・知識・漢字については、自分が間違えるところを中心に、繰り返し漢字のテキスト等で練習するのが効果的です。 <p>【ICTの活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> 知識・技能については、各種(e-ライブラリ、ドリルパーク)に問題が用意されているので、必要に応じて活用しましょう。言語の力は繰り返し問題を解いたり、覚え直したりすることで身に付きます。システム上で自分の間違えた問題に何度も取り組みましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書、ワークを繰り返し学習し、問題に慣れておきましょう。 自分が間違えるところに印をつけ、そこだけ集中的に学習しましょう。 国語は身に付けたい能力ごとに学習方法が大きく変わります。それぞれの観点を意識して学習しましょう。
社会 	<ul style="list-style-type: none"> 授業で習ったことを、その日のうちに「よくわか問題集」などを活用して復習することがおすすめです。習ったことを生かして、さらに思考を深めていく作業が大切なので、知識を定着させる意識をもって学習しましょう。また、プリントやノートもしっかり見返しましょう。 「なぜそうなったのか」「どのような影響をもたらしたか」を考えるようにしましょう。社会は暗記だけの教科ではありません。考える姿勢を大切に! 歴史は「流れ」を意識することが大切です。出来事の前後のつながりをしっかりと考えて復習に臨んでください。 <p>【ICTの活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業の復習として、ドリルパークを活用しましょう。一問一答形式の問題は用語の確認に最適ですが、その際には、単に用語を覚えるのではなく、必ずその意味まで理解するように心がけましょう。 NHK for schoolにある地理や歴史の解説動画なども、授業内容の確認や補助として活用してみてください。 	<ul style="list-style-type: none"> 日頃の家庭学習をもとにして、問題集に再び取り組んでみたり、ノートを見返しながら「なぜこのようなことが起こるのか」などを考えてみてください。考えることが、知識の定着につながるはずです。 ワークは自分で必ず丸付けと間違い直しを行い、どこを間違えたのか、なぜ間違えたのかを明らかにすることが大切です。 プリントやノートの赤文字、線を引いたところなど、授業中で扱った大切なポイントは、自分で意味や関係性を説明できるレベルまで確認しておきましょう。 社会は暗記だけすれば良い教科ではありません。日ごろから勉強を習慣化して、思考力や表現力を付けていかなければならないことを忘れなれないでください。



数学 	<ul style="list-style-type: none"> 授業で習ったその日のうちに、教科書の例題やワークの問題を自力で解き、解き方を完全にマスターしましょう。 丸付けとやり直しはしていないに行い、正しい途中式や考え方もすべて書きましょう。分からない箇所はそのままにせず、数日後にまた間違えた問題を自力で解き直しましょう。 文章題のような応用問題は、まずは、じっくりと悩んで粘り強く考える時間をとりましょう。例題で使った解き方や考え方をうまく使えないかいろいろと試行してみしましょう。徐々に思考力が高まっていきます。 <p>【ICTの活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ドリルパーク(ベーシックドリル・パワーアップドリル)を自分の学力に応じて解いてみましょう。分からないときは、画面右上にある「考え方を確認」で、ステップに分けた解説を見てください。また、「理解を深める」で類題も解くことができます。 復習するときに、授業で習ったポイントを、e-ライブラリの解説教材の「ポイント」と合わせて確認して、確認問題を解くと大変有効的です。また、「プリント教材」で全国の高校入試の問題を解くことができます。習った範囲で解ける問題があるか調べて、どんどん挑戦してみましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書に出てくる重要な新しい用語を確認し、その意味もしっかり理解してください。 教科書やワークの例題を全て解いて、ワーク、ドリルパーク、e-ライブラリなどで類似問題を解いてください。特に、間違えた類似問題は繰り返し解きましょう。 1度間違えた問題を2度間違えてしまったらわかるまで解きましょう。 テストは時間が決められています。問題をたくさん解いて、正確さとスピードの両方を身に付けていきましょう。
理科 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書とノートを見て、できるだけその日のうちに復習をしましょう。ノートを読みながら他人に解説できるとより授業内容の理解が深まります。声に出して読むことも記憶の定着につながり、おすすめです。また、思い出せなかった部分や疑問が残ったところは、翌日質問したり、自分で調べたりしてみましょう。 授業中に気になったことはすぐに質問したり自分で調べたりしましょう。理科で疑問に思うことは大切なことです。小さな「なぜ?」を大きく広げて、科学への興味関心を高めましょう。課題やワークを積極的に取り組んだりするのもいいですね。 <p>【ICTの活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> すき間時間を上手に活用しながらドリルパークなどを活用して、苦手な所を何度もくり返し解き、どんどん減らしていきましょう。 NHK for schoolなど、映像教材を活用すると、より直感的に学習内容をとらえられるようになります。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業ノートや教科書を、繰り返し学習することが大切です。重要用語を覚えるだけでなく、その用語の意味を説明できるようにすることが大切です。 ワークなどの練習問題を繰り返し学習しましょう。難しい問題にいきなり挑戦するよりは、簡単な問題にしばらくも良いので、何度も反復することが大切です。そうすることで基礎学力が向上し、応用問題への対応ができるようになっていくはずです。 理科の実験はとても大事です。実験でどんなことを行ったのか、結果がどうだったのか、そこから何が分かったのかを復習しましょう。また、実験方法でなぜその操作をしたのか、なぜその薬品を用いたかなどを説明できるようにしましょう。 友達同士で問題の出し合いや解説をしようすることもおすすめです。教え合うことで理解も深まりますし、記憶にも残ります。また、ささいなことでも遠慮なく先生に質問しましょう。



<p style="text-align: center;">音楽</p> 	<ul style="list-style-type: none"> • 毎日取り組むような課題は特にありませんが、その日の学習内容の振り返りや、学習プリントの間違い直し、定期考査前の復習などを行います。課題を出す時もあります。 • 授業で学習している曲を、可能であれば家庭で歌ってみてください。(できるだけ音源をタブレットで再生できるようにします。) <p>【ICTの活用】 スカイメニューの録画機能を使って自分の歌を撮り、再生、確認すると、技術の向上に役立ち、オススメです。(ただし、容量が大きいので確認後は削除しましょう。)</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 教科書、楽譜、学習プリントなどをよく見直し、授業での学習内容を思い出して、復習しましょう。
<p style="text-align: center;">美術</p> 	<ul style="list-style-type: none"> • 作品が授業内に終わらない場合は、提出日までに各自で完成させましょう。 • 1年を通して「美術鑑賞レポート」と「模写」作品を受け付けています。レポートは「鑑賞」の成績に、「模写」作品は「技能」の成績に加点します。 	<ul style="list-style-type: none"> • 授業で試験範囲のポイントを説明します。そこを中心に学習しましょう。勉強した人ほど高得点が取れる、努力重視型の試験です。
<p style="text-align: center;">体育</p> 	<ul style="list-style-type: none"> • 授業の中で、説明があった単語やルールを復習しておきましょう。 • 体力向上のために、ランニングや体幹トレーニングなど、家庭でも取り組みましょう。 • 授業で体育のない日にも、適度な筋トレやストレッチを行って、体力や柔軟性を高めていきましょう。 <p>【ICTの活用】 • 授業時に撮影した動画を家庭で確認し、次の授業時に課題意識をもった状態で参加しましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 授業中に説明があった内容をよく確認しましょう。 • 実技については、中学校体育実技を活用しましょう。 • 保健分野は教科書やワークシートをよく確認しておきましょう。 • 授業内での安全面や技能面の重要なポイントを振り返っておきましょう。
<p style="text-align: center;">技術</p> 	<ul style="list-style-type: none"> • 用語の意味を理解し、覚えましょう。(概念的な学習が多いのでしっかりポイントをおさえましょう) • プリント教科書を1日5分でも良いので目を通しましょう。 • 理解できていないところはそのままにせず、友達に聞か先生に聞きに来ましょう。 • 今学習している内容を理解し、覚えておくと、3年生でお得です。 	<ul style="list-style-type: none"> • プリントや教科書の内容を理解して覚えましょう。

<p style="text-align: center;">家庭</p> 	<ul style="list-style-type: none"> • 道具や材料などの名前を覚えましょう。そして、積極的に家庭の仕事を手伝い、学習を通して分かったこと、できるようになったことを繰り返し実践していきましょう。 • 特に、長期休業中はできることをいくつか決め、計画的かつ定期的に取り組みましょう。 <p>【ICTの活用】 • 授業時に調理や被服製作のポイントを写真や動画を参考にして、家庭実践の際に生かしましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 試験範囲の教科書をしっかり読み直し、大切なところにマーカーを引き、確認しましょう。 • プリントを参考にして、繰り返し覚えましょう。 • 実習技能は、実生活の中で繰り返し取り組みことで技能が定着します。
<p style="text-align: center;">英語</p> 	<ul style="list-style-type: none"> • 毎回の授業の復習として、①教科書の音読、②基本文や重要語句の練習・暗記、③エイゴのパートナー（ワーク）を解く、の3つを継続的に行いましょう。 • 教科書を早めに読み進めたり、単語の意味や使い方を予習しておくのも良いです。 <p>【ICTの活用】 • 教科書内にあるQRコードを読み取れば、単語・本文の発音してくれます。単語練習には発音が必要ですし、授業の前に取り組み、必ずスムーズに授業を受けられます。まず日々の宿題を確実に取り組んでいるかを確認してください。本文については、音声をもとに本文を覚えるくらいまで音読練習をしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ドリルパークは文法項目の確認に効果的です。授業で習ったものはドリルパークで練習し、ワークに取り組みとなお良いです。 	<ul style="list-style-type: none"> • 繰り返し学習 →テスト前だけではなく、日頃から… ① 授業で使用したプリントなどを振り返る。 ② エイゴのパートナーを解き、丸付け・直しまでする。 ③ タブレット端末を使って、教科書のQRコードを読み取り、発音の確認と練習する。 →英語は語学なので、話すことが一番大切です。 <p>これからより長い文章を読むようになってきます。そのために、文章を読む力である読解力と表現力が必要で、日頃からの積み重ねが大切です。その土台となるのは語彙力と英文法(文のルール)を身に付けていきましょう。課題にも取り組み、後悔のない3年生を迎えましょう。</p>


自分に合った勉強方法を早く見つけて、努力し続けよう!!

落合二中 家庭学習の手引き 3年

教科	家庭学習はこのように取り組もう!	試験前はこのように取り組もう!
国語 	<ul style="list-style-type: none"> 文章の読解については、本文とノートを繰り返し読み、授業を何度も思い出しましょう。 言語・知識・漢字については、自分が間違えるところを中心に、繰り返し漢字のテキスト等で練習するのが効果的です。 <p>【ICTの活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> 知識・技能については、各種(e-ライブラリ、ドリルパーク)に問題が用意されているので、必要に応じて活用しましょう。言語の力は繰り返し問題を解いたり、覚え直したりすることで身に付きます。システム上で自分の間違えた問題に何度も取り組みましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書、ワークを繰り返し学習し、問題に慣れておきましょう。 自分が間違えるところに印をつけ、そこだけ重点的に学習しましょう。 国語は身に付けたい能力ごとに学習方法が大きく変わります。それぞれの観点を意識して学習しましょう。
社会 	<p>(公民)</p> <ul style="list-style-type: none"> 公民は、より現代を生きる皆さんの生活との結びつきが強い分野です。ニュースで、授業で習った事項が扱われることも多いでしょう。問題集やプリントの問題を解くとともに、授業で習った様々なことが、私たちの生活にどのように結びついているか説明できるように心がけてみましょう。 「なぜそのような仕組みがあるのか」「どのような影響がもたらされたか」を考えると大切に! <p>(歴史)</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業があったその日に、プリントやノートをしっかり見返しましょう。単に語句を覚えるだけでなく、「なぜ」「どうして」という視点が重要になります。 歴史は「流れ」を意識することが大切です。出来事の前後のつながりをしっかりと考えて復習に臨んでください。 <p>【ICT】の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業の復習として、ドリルパークを活用しましょう。一問一答形式の問題で用語の確認を行うなど、少しずつでも学習に取り組む習慣を身に付けていきましょう。 	<p>(公民)</p> <ul style="list-style-type: none"> 日頃の家庭学習をもとにして、問題集に再び取り組んでみたり、ノートを見返してみたりしてください。用語は、その意味まで正確に覚えるように意識しましょう。 <p>(歴史)</p> <ul style="list-style-type: none"> ワークやドリルパークなどを活用し、繰り返し問題に取り組みましょう。 プリントやノートの赤文字、線を引いたところなど、授業中で扱った大切なポイントは、自分で意味や関係性を説明できるレベルまで確認しておきましょう。 社会科については、暗記だけでどうにかなる教科ではありません。日ごろから勉強を習慣化して、思考力や表現力を付けていかなければならないことを忘れないでください。

 数学	<ul style="list-style-type: none"> 授業で習ったその日のうちに、教科書の例題やワークの問題を自力で解き、解き方を完全にマスターしましょう。 丸付けとやり直しはしていないに行い、正しい途中式や考え方もすべて書きましょう。分からない箇所はそのままにせず、数日後にまた間違えた問題を自力で解き直しましょう。 文章題のような応用問題は、まずは、じっくりと悩んで粘り強く考える時間をとりましょう。例題で使った解き方や考え方をうまく使えないかいろいろと試行してみしましょう。徐々に思考力が高まっていきます。 <p>【ICTの活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ドリルパーク(ベーシックドリル・パワーアップドリル)を自分の学力に応じて解いてみましょう。分からないときは、画面右上にある「考え方を確認」で、ステップに分けた解説を見てください。また、「理解を深める」で類題も解くことができます。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書に出てくる重要な新しい用語を確認し、その意味もしっかり理解してください。 教科書やワークの例題を全て解いて、ワーク、ドリルパーク、e-ライブラリなどで類似問題を解いてください。特に、間違えた類似問題は繰り返し解きましょう。 1度間違えた問題を2度間違えてしまったらわかるまで解きましょう。 テストは時間が決められています。問題をたくさん解いて、正確さとスピードの両方を身に付けていきましょう。 <p>『入試前』</p> <ul style="list-style-type: none"> 12月ごろには、志望校の過去問を3年分を解きましょう。2回解けるとなおいです。
理科 	<ul style="list-style-type: none"> 復習するときに、授業で習ったポイントを、e-ライブラリの解説教材の「ポイント」と合わせて確認して、確認問題を解くと大変有効的です。また、「プリント教材」で全国の高校入試の問題を解くことができます。習った範囲で解ける問題があるか調べて、どんどん挑戦してみしましょう。 教科書とノートやプリントを見て、できるだけその日のうちに復習をしましょう。ノートやプリントを読みながら他人に解説できるとより授業内容の理解が深まります。声に出して読むことも記憶の定着につながり、おすすめです。また、思い出せなかった部分や疑問が残ったところは、翌日質問したり、自分で調べたりしてみしましょう。 授業中に気になったことはすぐに質問したり自分で調べたりしましょう。理科で疑問に思うことは大切なことです。小さな「なぜ?」を大きく広げて、科学への興味関心を高めましょう。課題やワークを積極的に取り組んだりするのもいいですね。 <p>【ICTの活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> すき間時間を上手に活用しながらドリルパークなどを活用して、苦手な所を何度もくり返し解き、どんどん減らしていきましょう。 NHK for school など、映像教材を活用すると、より直感的に学習内容をとらえられるようになります。 	<ul style="list-style-type: none"> ノートやプリント、教科書を繰り返し学習することが大切です。重要用語を覚えるだけでなく、その用語の意味を説明できるようにすることが大切です。 ワークなどの練習問題を繰り返し学習しましょう。難しい問題にいきなり挑戦するよりは、簡単な問題にしばらくも良いので、何度も反復することが大切です。そうすることで基礎学力が向上し、応用問題への対応ができるようになっていくはずです。 理科の実験はとても大事です。実験の目的が何なのか、結果がどうだったのか、そこから何が分かったのかを復習しましょう。また、実験方法でなぜその操作をしたのか、なぜその薬品を用いたのかなどを説明できるようにしましょう。 友達同士で問題の出し合いや解説を合うこともおすすめです。教えあうことで理解も深まりますし、記憶にも残ります。また、ささいなことでも遠慮なく先生に質問しましょう。

<p>音楽</p> 	<ul style="list-style-type: none"> • 毎日取り組むような課題は特にありませんが、その日の学習内容の振り返りや、学習プリントの間違い直し、定期考査前の復習などを行います。課題を出す時もあります。 • 授業で学習している曲を、可能であれば家庭で歌ってみてください。(できるだけ音源をタブレットで再生できるようにします。) <p>【ICTの活用】 スクリーンメニューの録画機能を使って自分の歌を撮り、再生、確認すると、技術の向上に役立ち、オススメです。(ただし、容量が大きいので確認後は削除しましょう。)</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 教科書、楽譜、学習プリントなどをよく見直し、授業での学習内容を思い出して、復習しましょう。
<p>美術</p> 	<ul style="list-style-type: none"> • 作品が授業内に終わらない場合は、提出日までに各自で完成させましょう。 • 1年を通して「美術鑑賞レポート」と「模写」作品を受け付けています。レポートは「鑑賞」の成績に、「模写」作品は「技能」の成績に加点します。 	<ul style="list-style-type: none"> • 授業で試験範囲のポイントを説明します。そこを中心に学習しましょう。勉強した人ほど高得点が取れる、努力重視型の試験です。
<p>体育</p> 	<ul style="list-style-type: none"> • 授業の中で、説明があった単語やルールを復習しておきましょう。 • 体力向上のために、ランニングや体幹トレーニングなど、家庭でも取り組みましょう。 • 授業で体育のない日にも、適度な筋トレやストレッチを行って、体力や柔軟性を高めていきましょう。 <p>【ICTの活用】 • 授業時に撮影した動画を家庭で確認し、次の授業時に課題意識をもった状態で参加しましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 授業中に説明があった内容をよく確認しましょう。 • 実技については、中学校体育実技を活用しましょう。 • 保健分野は教科書やワークシートをよく確認しておきましょう。 • 授業内での安全面や技能面の重要なポイントを振り返っておきましょう。
<p>技術</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 用語の意味を理解し、覚えましょう。(概念的な学習が多いのでしっかりポイントをおさえましょう) • プリント教科書を1日5分でも良いので目を通しましょう。 • 理解できていないところはそのままにせず、友達に聞か先生に聞きに来ましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> • プリントや教科書の内容を理解して覚えましょう。
<p>家庭</p> 	<ul style="list-style-type: none"> • 道具や材料などの名前を覚えましょう。そして、積極的に家庭の仕事を手伝い、学習を通して分かったこと、できるようになったことを繰り返し実践していきましょう。 • 特に、長期休業中はできることをいくつか決め、計画的かつ定期的に取り組みましょう。 <p>【ICTの活用】</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 試験範囲の教科書をしっかり読み直し、大切なところにマーカーを引き、確認しましょう。 • プリントを参考にして、繰り返し覚えましょう。 • 実習技能は、実生活の中で繰り返し取り組むことで技能が定着します。

	<ul style="list-style-type: none"> • 授業時に調理や被服製作のポイントを写真や動画を参考にして、家庭実践の際に生かしましょう。 	
<p>英語</p> 	<ul style="list-style-type: none"> • 授業でも伝えていますが、英語力に加えて、国語力が必要になります。国語の授業や読書を大切に! • 日々ある単語テストに真剣に向かいましょう。英語は積み重ねの教科。1年生ができないと2、3年生は何もできなくなってしまう可能性があります。 • 英語の長文にたくさん触れましょう。 <p>【ICTの活用】 • 授業で宿題になっている予習に取り組んでください。教科書内にあるQRコードを読み取れば、単語・本文の発音をしてくれます。単語練習には発音が必要です。授業の前に取り組めば、必ずスムーズに授業を受けられます。まず日々の宿題を確実に取り組んでいるかを確認してください。3年生になるとより1・2年生の基礎が大切になります。日々の予習や復習を大切にしてください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 繰り返し学習 →テスト前だけではなく、日頃から… ①ノートの問題を繰り返し学習 ②ミニラボを赤シートで隠して繰り返し学習 ③タブレット端末を使って、発音の確認と練習 →英語は語学なので、話すことが一番大切です。 ④国語力の大切さ 長い文章を読むようになってきました。そのために、文章を読む力である国語力が必要です。日頃から読書や国語の授業に熱心に取り組む必要があります。また今までの単語の知識を大切に、必要があれば、1・2年生の教科書を引っ張り出して、復習してください。課されている課題には必ず取り組む。

自分に合った勉強方法を早く見つけて、努力し続けよう!!